令和５年度標準学力調査　指導方法等の改善計画　　せらにし小学校　　令和６年度　第３学年

教科	前年度正答率（%）【全国比（P）】		課題となる観点	問題番号・出題のねらい＜学習指導要領＞	前年度自校正答率【全国比】	児童生徒の誤答の傾向と分析（○）、教育指導上の要因分析（●）	課題改善のための≪指導場面（指導時期）≫と具体的な取組	目標値	検証値
国語	教科全体	83.0【+3.7】	知識・技能	漢字の正しい筆順を理解している。＜1・2年知技（１）エ＞	25.0 【-16.7】	○「青」という漢字の書き順を問われている問題で，二画目にあたる部分を四画目としている誤答が多かった。漢字を正しい書き順で覚えていないためと考えられる。 ●新出漢字を学習する際に，字の形を覚えるだけに終わり，正しい筆順を丁寧に指導することが不十分であった。	≪新出漢字の学習（通年）≫ 新出漢字を練習する際には，筆順を丁寧に確認した上で，書く練習を行う。また，テストの答え合わせの際など，定期的に漢字の筆順を全体で確かめる場を作ることで，漢字の正しい筆順を身につけさせるよう指導する。	正答率 50%	% 【P】
	知識・技能	86.1【+5.3】							
	思考・判断・表現	78.6【+2.9】							
	主体的に学習に取り組む態度	68.3【-0.3】							
社会	教科全体	【】		＜＞		○ ●	≪（月）≫	正答率 %	% 【P】
	知識・技能	【】							
	思考・判断・表現	【】							
	主体的に学習に取り組む態度	【】							
算数／数学	教科全体	81.2【+8.2】	知識・技能	文章問題（おつりを求める場面）を，加法と減法を適用して解くことができる。＜2年A（2）ア（ア）＞	41.7 【-15】	○二つの物を買う時に，100円を支払ったときのおつりを求める問題で，加法を使って二つの物の代金を求めており，おつりを求めていない誤答が多かった。 ●文章問題を解く際に，問題場面を正しく捉える指導が不十分であった。	≪文章問題への取り組み（通年）≫ 文章問題に取り組む際には，加法か減法かを判断するキーワードを意識しながら落ち着いて文章を読み取ること，図にかいて考えることで問題場面を正しく理解し，問われていることに対して回答する力を身に付ける。	正答率 50%	% 【P】
	知識・技能	85.6【+7.3】							
	思考・判断・表現	68.5【+10.2】							
	主体的に学習に取り組む態度	66.7【+7.7】							
理科	教科全体	【】		＜＞		○ ●	≪（月）≫	正答率 %	% 【P】
	知識・技能	【】							
	思考・判断・表現	【】							
	主体的に学習に取り組む態度	【】							
英語	教科全体	【】		＜＞		○ ●	≪（月）≫	正答率 %	% 【P】
	知識・技能	【】							
	思考・判断・表現	【】							
	主体的に学習に取り組む態度	【】							